

学びと育ちをつなぐ

保幼小連携・接続推進支援事業のモデル地域である黒潮町で、7月29日に【第1回保小交流活動】が行われました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新しい生活様式を取り入れた交流活動「おかえりなさい！1ねんせい」では、佐賀保育所に佐賀小学校1年生と拳ノ川小学校1・2年生が来所し、小学校での学習や活動を佐賀保育所の年長児に紹介しました。年長児は、保育所で夏祭りに向けて取り組んでいるまつり太鼓を発表しました。久々の再会に嬉しそうなお子様たち。第3号では、その交流活動の様子をお伝えします。

「おかえりなさい！1ねんせい」

園児 大勢の前でも楽しみながら太鼓を披露し、達成感を味わう。交流を通して小学校入学に向けて期待感をもつ。

児童 年長児と一緒に活動することで、思いやりの心を培うとともに小学生になった自覚をもつ。



10時過ぎ、保育所に佐賀小学校1年生、拳ノ川1・2年生が乗ったバスが到着しました。久々の保育所に、「久しぶりや」「懐かしい～」とつぶやく小学生。「おかえりなさい！」と保育所の先生方や年長児にホールで迎えられ、更に喜びが増す子どもたち。「ただいま！」と元気に答えていました。

年長児の手遊び・挨拶の後、拳ノ川小学校の1・2年生が音楽の時間に練習しているピアノの演奏や、国語科で学習している内容を生かした【あいうえ王さま】・【おすすめの漢字】を発表しました。王様になりきって発表したり、自分の名前に入っている漢字をイラストを見せながら発表する姿に、年長児も引きつけられていました。

拳ノ川小学校1・2年生



佐賀小学校1年生



佐賀小学校の1年生は、国語科の【さとうとしお】の学習を生かし、『レタスとキャベツ』『小麦粉とかたくり粉』等の、子どもたちの身近にあるものの違いに着目した比べ方について発表をしました。色や感触の違い等、1年生ならではの見方で比べていましたが、大人も「なるほど～」と関心する内容の発表でした。

佐賀保育所 年長児

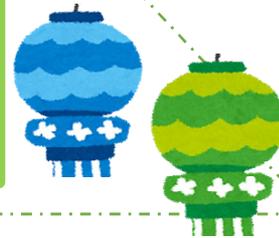
佐賀保育所の年長児の子どもたちは、夏祭りに向けて練習している【まつり太鼓】を披露しました。大勢の前で発表するのは初めての子どもたち。「かっこいい姿を見てもらいたい」と、自信に満ち溢れた姿と勢いのある太鼓の音に、1・2年生も見入っていました。大きな拍手を受けて、得意げな子どもたち。夏祭り本番も、楽しみになりました。



年長さんからプレゼント



最後に、年長児から1年生にプレゼントが手渡されました。年長児が一生懸命作った手作りのバッグに、1年生からは「すごいね、ありがとう」「また会おうね」と、声が掛けられていました。次の交流会も楽しみにする様子が伝わってきました。



交流会後は、感想を発表しました。1年生の「〇〇ちゃんのたいこのドコドコという音が大きかったです」という発表を聞き、年長児からも「1年生は、ちがいについて発表していて凄かったです」と、1年生の感想の発表の仕方を見本に年長児が次々に手を挙げて、発表していました。

交流会後の振り返り



交流会後は、保育所・小学校の先生方、教育委員会の方々と振り返りを行い、交流会から見られた子どもたちの姿が『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）』のどの部分につながっているかを視点に協議を行いました。先生方からは、協同性や社会生活との関わり、豊かな感性と表現に係る子どもたちの姿が出されました。



また、交流活動から年長児の友達と関わりながら活動することや、1年生の自分で考えて行動する場面から、互いの教育や支援の在り方についても共通理解をしました。

